

1 題材名 「おひさま にこにこ」

2 題材の目標

- あったらしいなと思うおひさまをかくことに興味をもち、楽しみながら取り組もうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 自分が表したいおひさまに合う色を選択したり、形を考えたりすることができる。(発想や構想の能力)
- クレヨンの使い方や表し方を工夫して、自分の思い描くおひさまをかくことができる。(創造的な技能)
- 自分が表したおひさまについて話したり、友人が表したおひさまについて聞いたりしながら作品を見合い、よさを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領解説図画工作編(平成20年8月)第1学年及び第2学年の内容A表現(2)イ「好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと」に対応したものである。自分があったらしいなと思う「おひさま」を想像し、友人とかかわり合いながらイメージをふくらませ、色や形を考え選択し、楽しみながら表現していく、図画工作科の基礎的な要素を踏まえた題材ともいえる。

(2) 児童の実態

1学期には、「いろいろ ならべて」という題材で、正方形の色カードをならべる造形遊びを行った。ここでは、色からイメージして何かに見立てるといった児童の活動が多く見られた。始めは緑色のカードでクリスマスツリーをつくっていたが、途中からひらめき、桃色のカードを用いてツリーをつくり出し、「サクラツリー」と命名するなど、色の多様性や各色のもつ特徴から新たなイメージをもち、表し方を工夫する児童の姿も見られた。

(3) 指導観

色や形への関心や感覚が深まりつつある児童の実態を踏まえ、児童が馴染みのある「おひさま」へのイメージをふくらませ、色や形の選択やその描画に多様な広がりをもたせられるようにする。手立てとしては、導入での話合いや中間鑑賞など、友人とのかかわり合いによる発想や構想へのよい刺激の場を適宜設定し、自分の思いをはっきりさせたり、つくりつつある色や形からイメージを広げたりできるようにする。

4 指導と評価の計画(3時間扱い)

次	時	学 習 活 動	関	発	技	鑑	評 価 規 準 (評価方法)
1	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ あったらしいなと思うおひさまを思い浮かべ、友人と話し合う。 ・ いろいろな色や形のもつ印象について話し合い、自分の表したいおひさまについてイメージを広げる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分だけのおひさまをかくことに興味をもち、友人との話し合いの中からイメージふくらませ、楽しくかこうとしている。 (観察・発表)
	② 本時						
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のかいたおひさまを紹介したり、友人の作品について話を聞いたりし、作品を見合う。 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話したことや見たこと、聞いたことから、互いの作品のよさを感じ取っている。 (観察・発表・作品)

5 本時の指導

(1) 目標

あったらいいなと思うおひさまについて話し合い、自分がかきたいおひさまのイメージをふくらませ、色や形を考えて表現することができる。

(2) 準備・資料

画用紙、クレヨン

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 ◎ 評価（評価方法）
<p>1 本時の学習課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あったらいいなと思うおひさまをかいてみましょう。</p> </div> <p>2 あったらいいなと思うおひさまについて話し合う。 〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしいおひさま。 ○ キラキラ光っているきれいなおひさま。 ○ 強くて格好いいおひさま。 <p>3 色や形のもつ印象について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オレンジ色はあったかい感じがするよ。 ○ 青っぽい色はなんだか涼しそう。 ○ 虹色のおひさまがあつたらきれいだな。 ○ お花型のおひさまがあつたら楽しそう。 <p>4 広がったイメージを基に、自分の思い描くおひさまを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい感じにしたいから黄色を使おう。 ○ 大きくて丸いおひさまにしようかな。 ○ にこにこした優しい顔のおひさまにしよう。 <p style="text-align: center;">(中間鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ □□さんのおひさまは、たくさんかいてあつてにぎやかだな。自分ももっと付け足してみよう。 ○ △△さんのおひさまは黄緑色でさわやかだな。自分もここにもう少し明るい色を使ってみよう。 <p>5 本時の学習を振り返り、まとめを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思ったとおりにかけて気に入った ○ ◇◇さんのおひさまの色の組み合わせがきれいだった。 ○ 今度はこんなおひさまをかいてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おひさまという言葉から受けるイメージを自由に出し合う時間を設けることで、対象への関心やイメージをもてるようにし、次の活動につなげる。 ・児童から出てきたイメージを大切にしながら、「こんなおひさまがあつたらいいな」という思いにつなげていく。 ・自分の思いを友人に伝えるとともに、友人の考えを聞くことで、イメージを刺激し合い、豊かなイメージの創出につなげていく。 ・思い描いたイメージについて、どのような色や形を選べばより自分の思い描いた表現となるのか考えていけるよう促す。 ・自分なりの意図をもって色を選択できるよう、色の印象について思いを出し合っていく。 <p>◎自分だけのおひさまをかくことに関心を持ち、友人との話し合いの中からイメージをふくらませ、楽しくかこうとしている。 (観察・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことをもとに色や形を選択してかいていけるよう助言を行う。 ・製作中のこどものつぶやきやアイディアを見とっていく。 ・中間鑑賞を行うことで、色の多様性やその特徴に気付き、更にイメージを広げられるようにする。 <p>◎おひさまの大きさや色、形など、自分のイメージに合うものを選択したり組み合わせたりしながらかいている。 (観察・作品)</p> <p>◎クレヨンの特徴を生かしながら使い方や表し方を工夫している。 (観察・作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを行い、自分の作品とともに友人の作品のよさに気付き、次時の鑑賞の学習に意欲をもって取り組んでいけるようにする。